

学校教育目標	「笑顔がすてき いいこといっぱい下和泉」～ふれあい 認め合い 学び合い～					
	○自ら課題を見出し、共に学び合うことで基礎・基本を身につけ、主体的に学ぶ態度を育てます。(知) ○進んで自分らしさを発揮し、自分のよさを伸ばせるとともに、他の人との違いも認め合うことができる子どもを育てます。(徳) ○健康や安全の大切さに気づき、心身ともに健やかな子どもを育てます。(体) ○共に学び合い、地域社会の一員として、より豊かな人間関係を築ける子どもを育てます。(公) ○様々な社会の変化に柔軟に対応できる子どもを育てます。(開)					
学校概要	創立 47 周年	学校長 浜名 伸明	准校長	小学部	一般学級: 15 個別支援学級: 3	児童数 477 人
	学期制	副校長	難波 将城	中学部	一般学級: 個別支援学級:	生徒数 人

<b>教育課程全体で 育成を目指す資質・能力</b>	<b>「9年間で育てる子ども像」と具体的取組</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・規範意識の高揚</li> <li>・多様性を認め合い、共に生きる力</li> <li>・課題解決に向け、粘り強く取り組む力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○進んで人や地域と関わり、自他のよさに気付ける子ども</li> <li>○これまでの学びをこれからの学びに生かしていくことができる子ども</li> <li>○中学校教員との教務主任会・教科主任会や授業交流会などの合同会議を行い、すべての職員が協働して小中一貫カリキュラムの検証を行い質を高めます。</li> <li>○専任同士の情報交換を密にし、卒業生が円滑に中学校生活に移行できるようにします。</li> <li>○地域の行事等に積極的に参加できるよう、児童に情報提供を行います。</li> </ul>

<b>中期取組目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人との豊かな関わりを通し、成功体験をふやすことで自分に自信をもち、意欲的に活動に取り組む子どもを育てます。</li> <li>・多様な考えを働かせ、思考力・判断力・表現力等を身につけることで、主体的に学ぶ子どもを育てます。</li> <li>・人と豊かに関わることで、自分の良さに気づき、自己有用感をもてる子どもを育てます。</li> <li>・キラリンピックの取組や学校保健委員会の取組を通し、健康や安全の大切さに気づき、心身ともに健やかな子どもを育てます。</li> <li>・まちとの関わりを大切にし、地域社会の一員として、より豊かな人間関係を築ける子どもを育てます。</li> </ul>
---------------	--

重点取組分野	具体的取組
<b>生きてはたらく知</b> 担当 研究部	①多面的・多角的な見方や考え方で問題を発見し、既習事項を使って思考力・判断力・表現力等を働かせながら解決していく力を育む。②筋道を立て主体的に考え、学びの意義や楽しさを感じながら意欲的に学び続ける力を育む。③スキルタイムや家庭学習を有効に活用し、基礎・基本の定着を図る。
<b>豊かな心</b> 担当 道徳	①人権・道徳教育を柱として、自己の生き方についての考えを深めることで、道徳的実践力を高める。②他とふれあう活動を大切にし、「人」とのつながりを生かした学習を展開する。③他者と共によりよく生きるために、多様性を認め、相手の立場や気持ちを思いやって行動できる優しさを育む。
<b>健やかな体</b> 担当 体育部	①規則正しい習慣を身に付け、正しい生活習慣を実践する力を培うために、児童会活動の取組や学校保健委員会を活用する。②一校一実践運動を生かし、運動に親しむ機会を設けたり、外遊びを励行したりすることで体力の向上を図る。③養護教諭と連携し自分の体に関心をもてるようにする。
<b>児童指導</b> 担当 指導部	①「下和泉のやくそく」が定着するよう全職員が足並みをそろえ共通の指導をする。②学校づくり部会、学年研等で課題を明確にしてチームで対応し、継続的な指導・支援を実施する。③児童ひとり一人の実態を的確にとらえ、寄り添った支援を行う。
<b>特別支援教育</b> 担当 コーディネーター	①コーディネーターのリーダーシップでユニバーサルの視点に基づいた授業改善とひとり一人の児童の的確な見取りを実施し、支援の推進を図る。②一般級と個別支援級の連携強化に向け、合同打ち合わせ等を行い情報を共有する。③他機関との連携・協働も視野に入れ、支援を厚くする。
<b>地域連携</b> 担当 総務部	①地域防災訓練と防災総合訓練を協働実施できるよう準備を進める。②地域行事への参加を児童に促し、地域の一員としての自覚を高める。③生活科や総合の学習等で保護者サポートや地域の人材を活用することで、まちと共に子どもを育てる。
担当	
担当	
<b>いじめへの対応</b> 担当 指導部	①YPプログラムの活用や他者との豊かな関わりを経験することで、自己の大切さに気づくと共に他をいたわる態度を育てる。②いじめの定義を教職員、児童や保護者等で共有し、学校全体で未然防止に努める。③早期発見と対応、必要に応じ専門機関と連携を図る。
<b>人材育成・組織運営 (働き方改革)</b> 担当 教務主幹会	①教務・主幹会を中心に、ミドルリーダー・学校リーダーが全体を見通して学校運営していく場を設定する。また、主幹教諭がミドルリーダーを育てる組織として学校づくり部会を活用する。②メンターチームを5年次以下の教職員を中心に組織し、月1回の活動を継続して行う。③職員の負担軽減への工夫をさらに進め、職員が児童に関わる時間を確保し安定した学校運営ができるようにする。